

市政ニュース

市議会役員人事決まる 議長に岡谷邦人さん、副議長に谷口勝己さん

11月13日、市議会臨時議会が開催され、議会役員が改選されました。

議長に岡谷邦人さん、副議長に谷口勝己さん、議員選出の監査委員に森田健治さんがそれぞれ選ばれました。



監査委員
森田 健治



副議長
谷口 勝己



議長
岡谷 邦人

なお、各委員会の委員長、副委員長は次のとおりです。

(敬称略)

◎は委員長、○は副委員長

【企画総務委員会】

◎稲垣のり子 ○門間雄司

【市民福祉委員会】

◎森田 進 ○升田勝義

【文教委員会】

◎村岡峰男 ○福田嗣久

【建設経済委員会】

◎野口逸敏 ○広川善徳

【議会運営委員会】

◎古谷修一 ○川口 匡

【特別委員会】

【議会広報特別委員会】

◎綿貫祥一 ○古池信幸

【交通網問題調査特別委員会】

◎椿野仁司 ○芝地邦彦

【庁舎建設調査特別委員会】

◎吉岡正章 ○木谷敏勝

【議会改革特別委員会】

◎伊藤 仁 ○上坂正明

円山川の生きものを守るブラックバス駆除作戦を実施 外来生物問題をみんなで考えよう！

10月26日、玄武洞前（赤石）の円山川の入り江で外来魚のブラックバスとブルーギルの駆除作戦が行われました。

これらは、元々はアメリカに生息する魚でしたが、食用や釣り対象として国内に持ち込まれ、急激に数を増やしています。繁殖力が強く食欲も旺盛で、国内に昔から生息する生きものたちを食べつくしてしまいう危険性があります。

そこで、円山川の生きものを守るため、円山川漁業協同組合が中心となり、駆除作戦が実施されました。

竹棒で水面をたたきながら設置した網に追い込んだり、専用の仕掛けを使うなどして、ブラックバス20匹とブルーギル8匹が捕獲・駆除されました。

同組合組合長の田川与志美さんは「円山川の豊かな生態系を守ることは大切です。この取組みを通じて、多くの皆さんに外来生物の危険性を知ってもらいたい」と話していました。



▲水面をたたいて網に追い込む駆除作戦

〈主な市政の動き〉

【10月】

- 17日・豊和会例会
- 18日・全国芝居小屋会議
- 19日・但東いろどりフェスタ
- 20日・台風23号被災者追悼の集い・記念イベント
- 第3回豊岡市・京丹後市合同会議
- 26日・大石りくまつり
- 清潔で明るい町づくり推進大会
- 北但地域環境フォーラム
- 28日・ラムサール条約締約国会議（11月4日）
- 31日・豊岡市美術展 全但児童・生徒作品展（11月4日）

【11月】

- 1日・全日本身体障害者野球選手権大会（3日）
- ことぶき苑祭
- 3日・出石お城まつり
- マロニエまつり
- 4日・豊岡北地区暴力追放防犯交通安全大会
- 5日・市政懇談会（竹野総合支所）
- 津居山かに漁出港式
- 6日・松葉ガニ漁解禁
- 7日・中日本海交流会議
- 8日・豊岡南地区暴力追放防犯交通安全大会
- 11日・円山川左岸築堤工事起工式
- 13日・市政懇談会（日高農村環境改善センター）
- 市議会臨時議会

日本経団連の会員企業が視察来市

豊岡の自然保護と地域振興をつないだ取組みに感銘

10月17日、社団法人日本経団連連合会自然保護協議会会員企業の環境部門担当者など9人がコウノトリの野生復帰やそれを支える農家、市民などの取組みを視察するため、豊岡を訪れました。

参加者たちは、コウノトリと共に生きる豊岡の取組みについて、NPOコウノトリ湿地ネットや河谷営農組合員、兵庫県、県立コウノトリの郷公園の職員、中貝市長などから説明を受けました。また、

豊岡市と、因幡地域の各自

豊岡市と、因幡地域の各自

豊岡市と、因幡地域の各自

2009鳥取・因幡の祭典来春開幕

但馬・因幡両地域の活性化を目指して

鳥取県東部の「因幡」地域を全国の人にもっと知ってもらうと、平成21年4月から翌年3月までの1年間、「2009鳥取・因幡の祭典」が開催されます。

期間中は、鳥取県東部地域の1市4町を舞台に多彩なイベントが繰り広げられ、それらの先陣を切るオープニングイベントとして、4月18日(土)～5月31日(日)まで、鳥

取砂丘オアシス広場で「世界砂像フェスティバル」が開催されます。夢あふれる「砂」のファンタジーワールドをぜひ体験ください。

豊岡市と、因幡地域の各自



▲無農薬の大豆栽培の説明に耳を傾ける参加者たち



▲奥田副市長(左)といなばPRフェアリーの田邊美和子さん

典を盛り立てましょう。

お得な前売入場券は、観光課(☎21-9016)で購入できます。

中貝市長の徒然日記 ⑮

トキ知事に会う

先月、韓国の昌原市で開かれた第10回ラムサール条約締約国会議に行ってきました。NGO主催のイベントに出席するためです。

この条約は、国際的に重要な湿地の保全を目的とし、日本では釧路湿原など37カ所が登録されています。豊岡は、2012年ルーマニアで開かれる次回会議で円山川下流域の登録を目指しています。後向き歩き転倒事件で右手に補装具を付けた豊岡市長。サッカーで痛めた右足にギブスをはめ、けなげに荷物を運ぶ市職員。2人がさっそうと歩く姿は感動的であったと評判です。会議場の保安検査では、市職員が通るたびにブザーが鳴り響いていました。

まず、慶尚南道のNGO主催の国際フォーラムで、コウノトリをめぐる豊岡の取組みを報告しました。機内でブツブツ言いながら覚えた英語で約20分。ヒナ巢立ちの映像では涙を流す人もいました。

WWF(世界自然保護基金)

ジャパンと「ラムサール条約湿地を増やす市民の会」主催のフォーラムでも前回と一字一句違わぬ(原稿とおりの)スピーチを。韓国・済州島からの参加者が「来年のシンポジウムにぜひ出席を」と言っ

市民、団体、企業、行政が一体となってコウノトリも住める環境づくりを進める豊岡の姿や、環境経済戦略のアイデアと実践は、強烈な印象と驚きをもって受け止められたように思います。

慶尚南道の知事が会いたいと言っ

「日本のコウノトリ市長、韓

